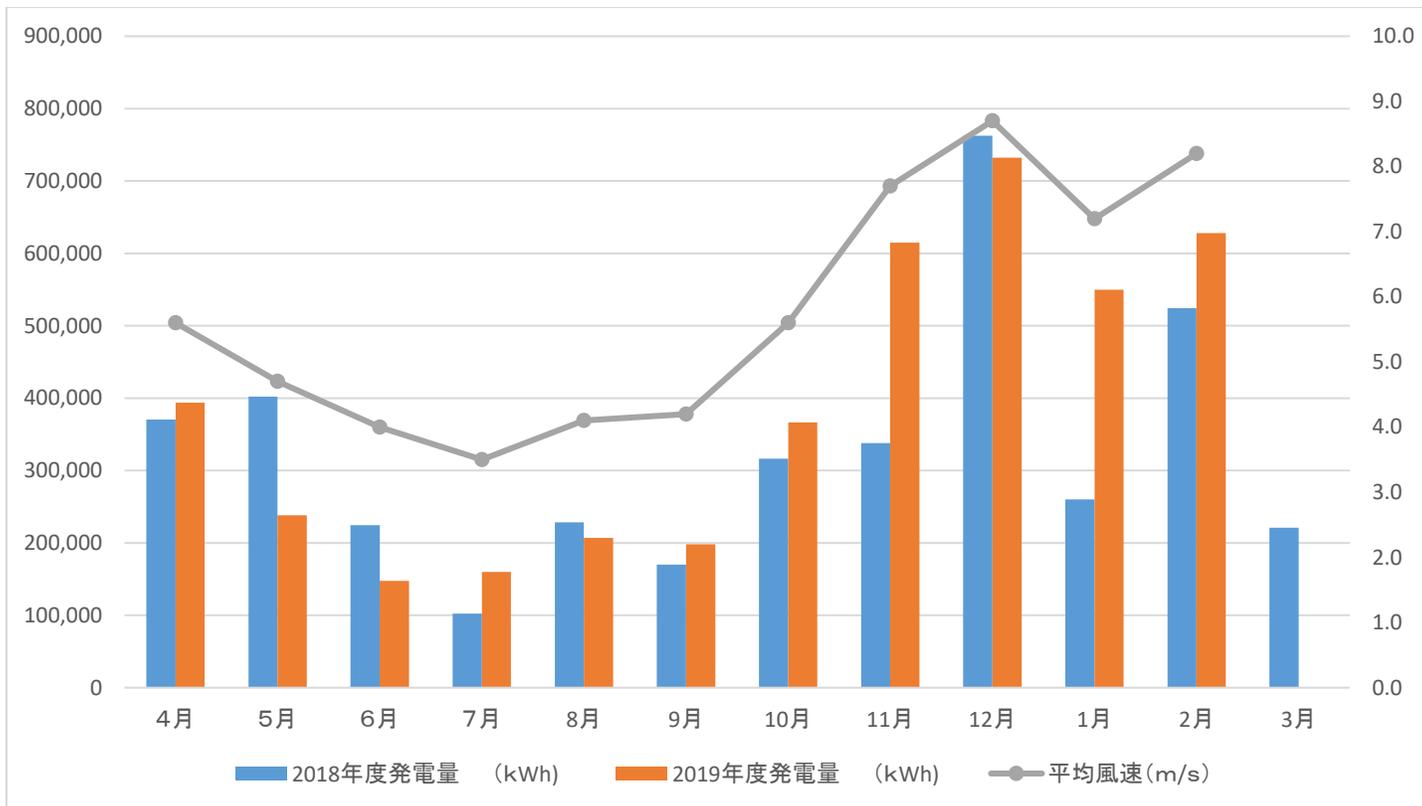


秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-6-9 大内ビル3F 一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩(代表理事) 編集責任者 鈴木伸予

○ 発電実績



2月度運転状況について

- 平均風速は8.2m/sで、前年同月に比べ0.3m/s低い実績でした。
- 前年は、増速機の軸受けに軽度な損傷が認められた為、1/9～2/4まで保安停止をしました。そのため、前年に比した発電量は多くなっています。

秋田県で一番早く桜だよりを届けるにかほ市。至勢公園の約1000本もの桜がほころぶと、北国・秋田に一気に春が訪れます。今年も秋田県でも開花が早く、予想は4月4日です。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	393,953	5.6	98.3
5月	238,301	4.7	92.4
6月	147,508	4.0	96.9
7月	159,901	3.5	99.6
8月	207,146	4.3	97.7
9月	198,307	4.2	96.6
10月	366,622	5.6	97.8
11月	614,728	7.7	99.4
12月	732,186	8.7	99.0
1月	549,656	7.2	97.6
2月	638,017	8.2	99.2
3月			

デポーにかほフェアを開催しました

2020年2月25日から3月1日まで、生活クラブ東京、神奈川、千葉のデポーで「にかほフェア」を開催しました。にかほフェアでは、夢風ブランド品に加えて、にかほ市の特産品の販売を行い、生活クラブ風車「夢風」や生活クラブでんき、にかほ市のアピールを行いました。

また、2/27(木)～29(土)にかほ市より生産者が3単協のデポーに来所してアピールを行いました。その様子を紹介いたします。来所された方々は、(有)三浦米太郎商店の三浦悦朗さん、伊藤製麺所の伊藤実さん、日南工業(株)の服部進一さん、四つ葉ネットワークの池田千鶴子さん、道の駅ねむの丘の佐々木勝美さん、芹田自治会長の竹花勲さんと荒川定敏さん、にかほ市まちづくり推進課の高橋潔さん、(株)岡永の斉藤満さんです。



2/27(木)の午後に、千葉単協の「おおたかの森」、「園生(そんのう)」、「木刈」の3つのデポーを訪問しました。

木刈デポーでは、千葉単協の組合員が日南工業と一緒に開発した「鱈しょつつる」を使ったカレーを昼食に頂きました。デポーにかほフェアで毎年取り組んでいる「でんべいかれい生産グループ」の「エビっこ炙り」は、今年も人気でした。

＜木刈デポー＞ 左から2人目：伊藤さん、3人目：竹花さん
右から2人目：荒川さん

夕方、にかほからの皆さんは千葉から新横浜に移動し、神奈川単協の組合員、デポーワーカーズ、職員との懇親会をレストラン We で行い、交流しました。



2/28(金)は神奈川単協の「相武台」「大丸(おおまる)」「本牧」「のぼりと」の4つのデポーを訪問しました。

相武台デポーでは、神奈川単協の組合員が三浦米太郎商店と一緒に開発した「はたはたおいる漬け」を使った炊き込みご飯を試食しました。ニンニクを丸ごと1個使い、オイルも使って、洋風のおしゃれな一品です。

はたはたの燻製とチーズも相性が良く、お酒のおつまみにピッタリでした。

(株)岡永の斉藤さんによる「純米大吟醸夢風」の試飲も好評で、「お米も杜氏が自ら作り、仕込み水は鳥海山の伏流水で、大吟醸でこの価格はとてもお得ですよ」「ラベルも神奈川の組合員の作品です」とアピールを頂きました。



＜相武台デポー＞ 後列左から、高橋さん、三浦さん、佐々木さん、斉藤さん



のぼりとデポーでは、日南工業の服部さんが「鯖しょっつる」のお出しの試食をしました。「おいしいから、いつも使っています」という組合員さんからの声が多くありました。

また、四つ葉ネットワークの甘酒も水で半分に薄めて温めて試食しました。発酵に3日間かけ、糀の甘みだけで、半分に割ってもとても甘くて美味しくいただきました。

〈のぼりとデポー〉 左から、伊藤さん、池田さん、竹花さん、服部さん、荒川さん

2/29(金)は東京単協の「せたがや」「すぎなみ永福」「いいたばし」「北東京」「町田」「八王子みなみ」の6カ所のデポーを訪問しました。

生活クラブ東京ではデポーにかほフェアに合わせて、「生活クラブでんき」のパネルを作成して、各デポーでのアピールに活用しました。

八王子みなみデポーでは、にかほフェアのアピールに、手造りの動く大きな風車が登場して、組合員もびっくりです。はたはたおいる漬けのレシピ集や生活クラブでんきのチラシなどもあり、楽しく工夫しながらアピールされていました。



〈八王子みなみデポー〉 後列左から、荒川さん、竹花さん、佐々木さん



生活クラブ風車の建つ芹田自治会からは、会長の竹花さんと、前会長の荒川さんに参加いただき、地元の方々の思いや生活クラブとの関わりを直接組合員の方に話して頂きました。

また、にかほ市役所の高橋さんからは、にかほ市のアピールを頂きました。

ありがとうございました。

メンテナンス

～風車のメンテナンスを委託している㈱市民風力発電の HP つながる通信より一部抜粋してご紹介します。～

強い風が吹く場所に建てられた風車は、過酷な自然条件にさらされている。トラブルは起きてほしくないが、必ず起きてしまう。だから、予防が大事だ。メンテナンススタッフは、風力発電事業の現在と未来を支えている。

業務内容を紹介しますと、日常点検ではブレードがちゃんと3枚付いているか、大きな風切り音が聴こえないか、ローターの旋回時に異音が聴こえないかなど、目と耳で風車の体調をチェックする。

月次点検ではタワーに昇って、ナセル、ブレード、ハブ内を点検・清掃。

半年点検では、メーカーのマニュアルに沿って4～5日間かけて指定された個所を目視点検し、ギアオイルフィルターを交換し、グリースを注入していく。

年次点検では、オイルフィルター・潤滑油フィルター・油圧オイル・潤滑油・作業油・発電機ブラシの交換、グリースの注入、ボルトの増し締めが主な項目だ。

『やればやるだけ、機械は健康になる。そこは車と変わりません。何もしなくても当面は動くかも知れませんが、いつか必ずトラブルが起きます。発電設備がそうならないよう、設備を計画通りに稼働させることが、自分たちの役目です』

風力発電設備は、10年を過ぎたあたりからトラブルが起きやすくなる。つまり、メンテナンスグループの出番もこれから増えてくる。

設備稼働率を高く維持するため、責任は重大だ。

(㈱市民風力発電 渡邊剛士)



コラム 観測史上で最も早く桜が開花

3月14日に、気象庁は東京都心での桜が開花したと発表した。これは、昨年より7日、平年より12日と、観測史上で最も早い。1週間から10日で満開を迎えそうだ。満開の桜の下で子供の入学式を迎えていたのは、何年前の事だろうか。年々、開花が早くなって来ていることを実感する。

地球温暖化により、世界の平均気温は100年あたり約0.73℃の割合で上昇している。日本では、100年あたり約1.21℃の割合で上昇している。特に、1990年以降、高温となる年が頻出している。

環境省・文部科学省・農林水産省・国土交通省・気象庁「気候変動の観測・予測及び影響評価統合レポート2018～日本の気候変動とその影響～」によると、製造業、商業、建設業等の各種の産業においては、豪雨や強い台風等、極端現象の頻度・強度の増加が甚大な損害をもたらす可能性がある。また、私たちの生活においても、気温の上昇等が快適な生活を送る上での支障や季節感の変化等をもたらす可能性がある。さらに、このような気候の変化を直接受けて生じる影響だけでなく、自然生態系の変化、農業や水産業への影響、自然災害への影響等が、産業・経済活動や生活面に、様々な波及的な影響をもたらしかねないという。

(文責 事務局長 鈴木)

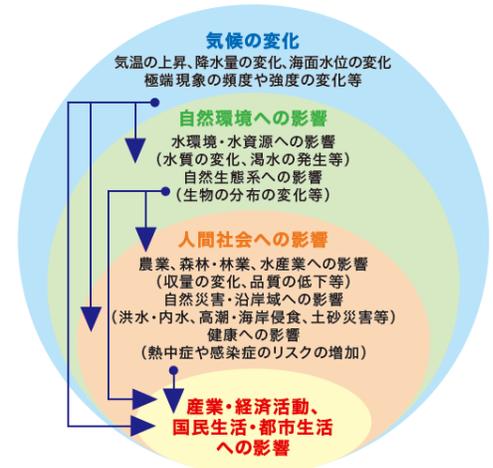


図24 気候変動から産業・経済活動、国民生活・都市生活への影響の流れ